

協議会からのご意見を踏まえた
地域づくりや利活用に関する方策案

地域づくりや利活用に関する協議会からのご意見

1. 全体の方向性

- ・ 市民を取り込み、味方につけることが重要。
- ・ 小・中・高校向けの環境学習を進めるとともに、若い人たちの斬新な考えを組み込みながら、地域の魅力を「見える化」し、地域ブランディングやイノベーションを進める。
- ・ ⇒方策1, 2, 3

2. ウェブサイト

- ・ 協議会としてのまとめりや、ワーキングとしての繋がりなど、自分たちを主体として考えていく場を形成するという意味でも、わかりやすいウェブサイトが必要。
それをSDGsにいがたや国交省等にリンクさせる。
- ・ ウェブサイトのターゲット等を今一度整理することが必要。
⇒方策4

3. 広報誌

- ・ 徳島河川国道事務所ではデジタル広報誌（Ourよしのがわ）に生態系ネットワークの関連情報を掲載している。北陸地方整備局においても広報誌があれば、活用を検討してはどうか。
⇒今後、広報誌についても活用を検討していく。

4. モデルプロジェクト

- ・ モデルプロジェクトについては、まずは小さい実証実験のような形ができると良い。
⇒資料7

方策1. 環境学習の推進

- ・ 将来の地域を担う世代に向けて出前学習や総合学習の時間を活用して環境学習を行い、地域の魅力の発見や改善策の提案などを通じて、地域の自然につながる生態系ネットワークについて理解を深めてもらえる取組を推進する。 →資料8

【取組イメージ】 出典：第5回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会（令和4年7月27日）資料

■No.9 流域の環境を守る人材の育成

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
北九州市	<p>・時期:令和3年6月～令和4年1月 場所:支流を含む遠賀川流域 主体:16団体 内容:遠賀川流域の学生を対象に、遠賀川の勉強会や専門家による講義を通じて、人材育成を実施した。(出張授業、防災マイタイムライン講習勉強会、水質、水生生物調査、Youtubeによる環境学習等)</p>

出張授業
「へえ～、すごいぞ！北九州の自然」

〈実施校数等〉
 実施校数 28校
 実施クラス数 62クラス
 受講児童数 1,581人
 実施学年 主に4年生
 主な実施場所 教室



出張授業 開催状況



【地域住民・NPO等の取組：NO.9 流域の環境を守る人材の育成】

●水辺の安全勉強会、川の生き物、水質調査等が実施された。



八幡西区楠北 嘉麻市公民館大隈分館の夏休みときめき学習 7月21日

大隈分館の前で環境学習をした後、遠賀川の嘉麻水辺の高校で川遊びをしました。昨年完成した魚道の開りに多くの生き物がいたので、網で捕まえて観察しました。

主催：嘉麻市公民館大隈分館

筈尾川サマーフェスタ 7月18日

親子でカヌーを楽しんだ後は、水辺の安全について学び、緑日も開催され大変盛り上がりました。最後はみんなでおいしいカレーをいただきました。
 主催：子供食堂くすくす
 協力：筈尾川水辺の高校運営協議会



高麻市



いきいき子供講座（みずしるべ） 7月31日

子どもたちは、川の自然や生き物、きれいな水とその心地よさ、歴史や文化・日常的な河川利用や流域の産業活動、地域とのつながりを学びました。
 主催：糟粕市市民センター
 協力：筈尾川水辺の高校運営協議会



方策2. 案内情報のデジタル化、ネット情報の充実

- ・既存のサイン等にQRコードを貼りつけて、各種情報を参照できるようにすることで、若い世代の関心の醸成や訪日客にとっての利便性の向上につなげていく。
- ・「北区のお宝ものがたり」のように、越後平野生態系ネットワークに係る資源等（観察ポイント等）についても、グーグルマイマップ等（次頁）と連動させる。

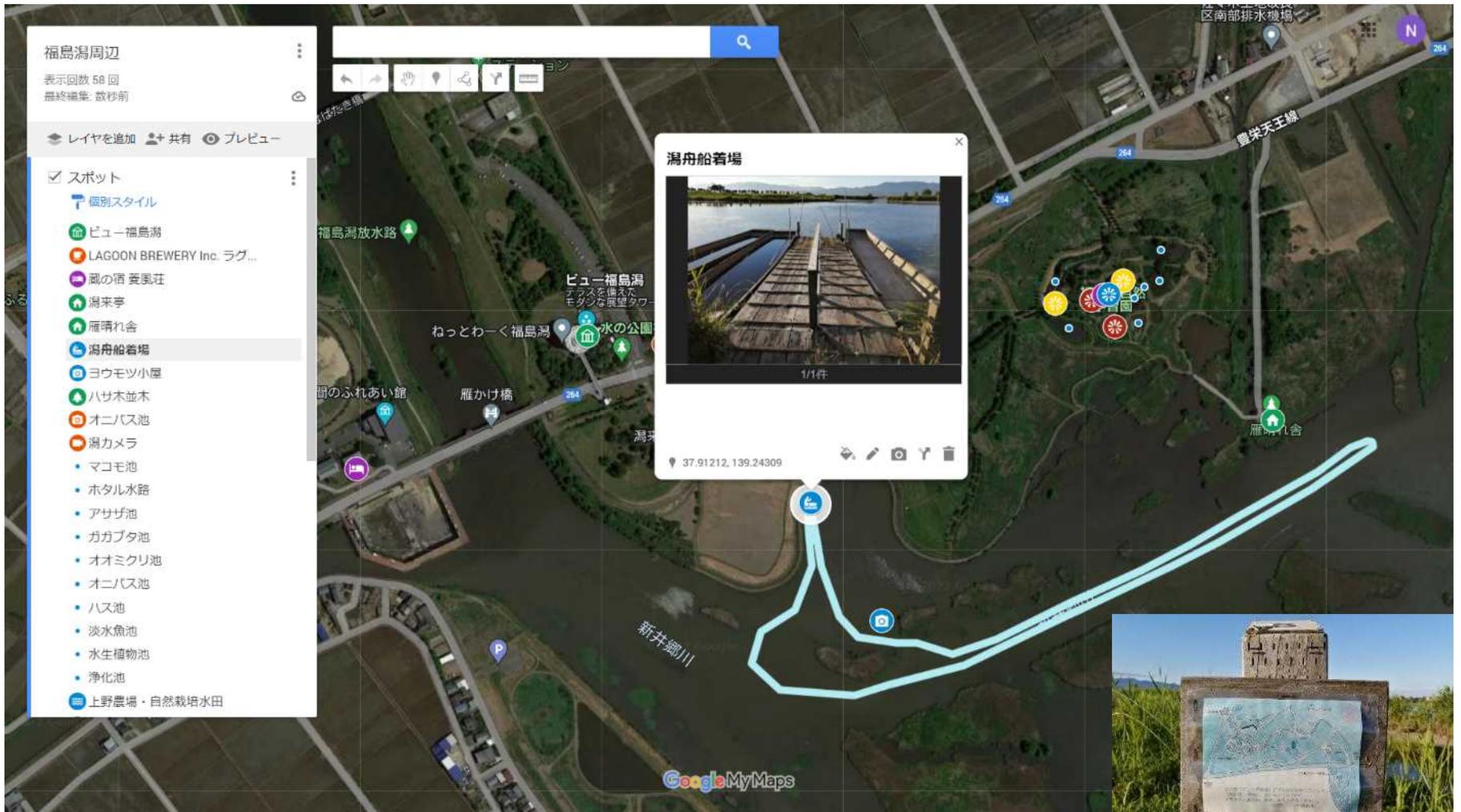


新潟市作成の
「北区のお宝ものがたり」
(左画像) とリンクした
QRコード付きの説明板
(上画像)



新潟市北区観光協会ウェブサイトでは「北区のお宝ものがたり」をグーグルマイマップ上で紹介している。

越後平野生態系ネットワークに係る資源等をグーグルマイマップで整理・公開し、魅力発見や地域活性化につなげる



福島潟における観察ポイント等の位置を載せたグーグルマイマップのイメージ

福島潟の園路に設置されたサイン

方策3. イベント等への参加や広報ツールの作成（来年度検討）

- ・環境関係のイベントなどに参加し、広報ツールを用いて生態系ネットワークの取組をPR。
- ・特に、若い世代が多く参加する下記のようなイベントにおいて、生態系ネットワークの取組を紹介するとともに、若者ならではの視点や斬新な意見の収集方策について検討する。
- ・関東、四国、中国地方、佐渡市などの他地域の生態系ネットワークとの交流やPRも検討する。



TOYOTA SOCIAL FES!!

福島潟で野外バードウォッチングを体験しよう!



※2022年は9/23に開催

※2022年は6/5と11/3に開催

※2022年は11/5,23に開催

※2022年は11/13に開催

その他 福島潟開催のイベント

- ・福島潟フォトコンテスト
- ・潟の音風景～福島潟夕方コンサート
- ・親子でバードウォッチング

- ・オオヒシクイ案内所
- ・バードカービング体験教室
- ・オオヒシクイ・ハクチョウ見学ツアー

・昆虫はかせと観察会

等

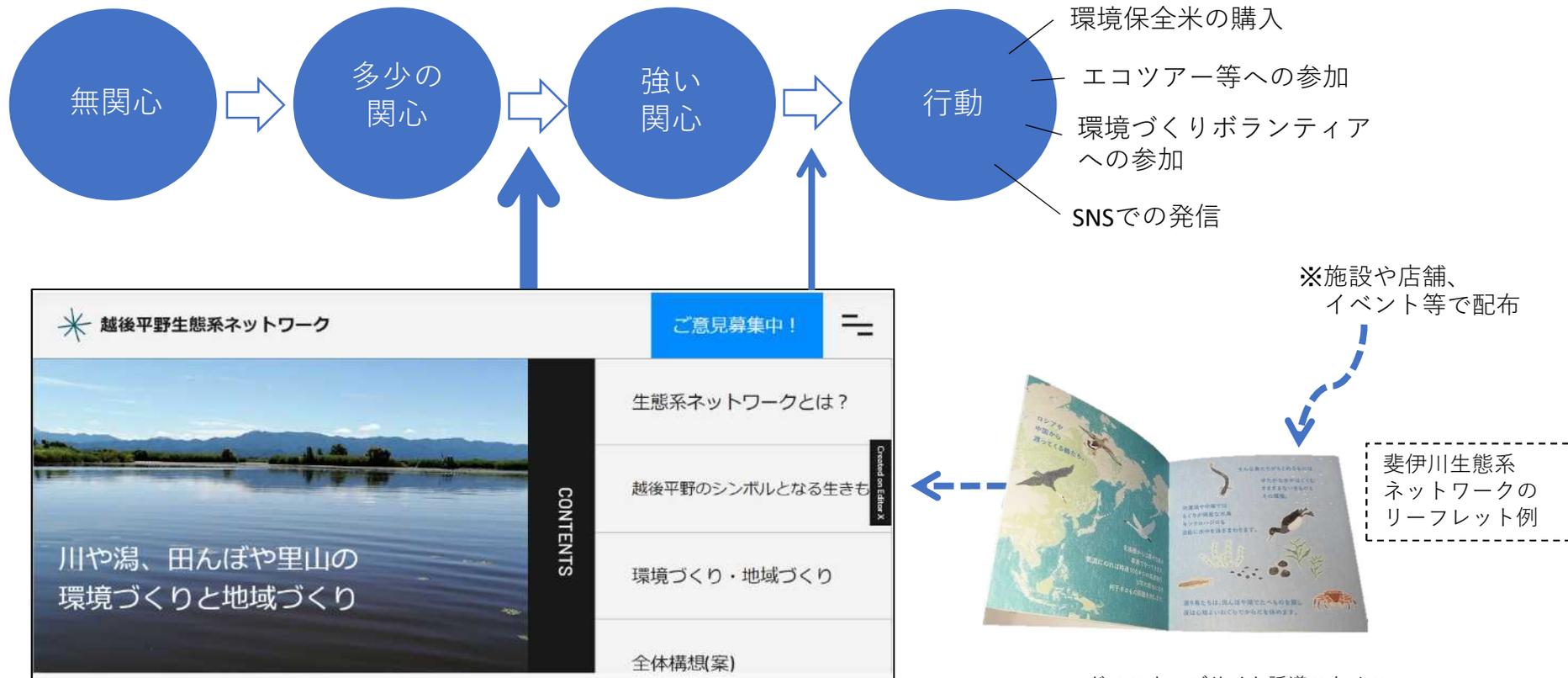
リーフレットやパネル等、広報ツールを作成



斐伊川生態系ネットワークの水鳥パネル例

方策4. ウェブサイト（年度内公開に向けて準備中）

- ・「越後平野在住の一般の方で、自然環境や安全な農産物にも多少関心があるが、具体的な知識は持たず、行動に結び付いていない方々」を主なターゲットとして想定。
- ・整備局や県・自治体等のサイトにおける環境に関わるページとのリンクを図る。
- ・全体構想の紹介と、県民からの意見聴取の場としても活用し、将来的には各行動につながるものにしていくことを検討する。



※ウェブサイトは、協議会メンバーが更新できるものを検討

- ・QRコードでのウェブサイト誘導のためのリーフレットの作成
- ・関係主体の協力によるポスター等でのPRについても検討を行う

ウェブサイトの構成・内容（案）

骨組みを作成し、今後取組と合わせ内容の充実を図る

【構成イメージ】

